

## 第2章

# 地域別構想



## 第2章 地域別構想

### 1 地域区分の設定

地域別構想は、全体構想のまちづくりの方針をもとに、地域の個性や特性を取り入れながらまちづくりの内容をより具体化するもので、地域住民の参加による身近なまちづくりを進めていくための方針として定めます。

従って、地域区分は自然条件や土地利用状況及び歴史的背景(旧村単位)等を考慮して、以下の4つの区分とします。



### ■ 地域区分

- 市街地地域 …… 用途地域の指定してある地域を対象とします。
- 東部地域 …… 都市計画区域の市街地地域以外で、天竜川の東側の地域を対象とします。
- 西部地域 …… 都市計画区域の市街地地域以外で、天竜川の西側の地域を対象とします。
- 北部地域 …… 都市計画区域外の小野地区と川島地区を対象とします。



## 2 市街地地域のまちづくりの方針

### ～ 地域にぎわい活動エリア ～

#### 1) 地域の現状と課題

- ◇ 本地域は町のほぼ中心に位置し、用途地域の指定してある地域で、町の総人口の約40%が集中しています。
- ◇ 地域の西と東には近隣市町村を結ぶ都市幹線道路が南北に縦断し、この路線を中心に都市計画道路をはじめとする道路体系が形成され、町における交通の要衝となっています。
- ◇ 古くから発展してきた辰野駅前商業地は、近年では空き店舗の増加、商店の集客力の低下により空洞化が深刻化しているとともに、若年層を中心として人口の流出が顕著です。
- ◇ 商業地の周辺は、良好な住宅地として利用されていますが、天竜川、横川川等の河川及び鉄道によって土地利用がいくつかに分断されています。また、地形上の制約や不整形な道路が多く、地域の連携と一体的な土地利用の形成が困難な地域です。
- ◇ 本地域は、公園の適正な配置、沿道緑化等によるうるおいとやすらぎのある街なみ形成、回遊性のある歩道の整備など、魅力ある商業地の形成と緑豊かな良好な住環境の整備が望まれます。また、住宅、商業、工業、公共施設等多様な都市機能が集積していることから、計画的な土地利用の整備・誘導を図るとともに、水と緑の創出による良好な市街地整備が望まれます。



## 2) 地域の将来像と目標

市街地地域の将来像とまちづくりの目標を次のように設定します。

### ■ 地域の将来像

豊かな暮らしとにぎわいのある活力あふれるまち

### ■ 地域のまちづくりの目標

- 多様な交流を育む質の高い生活拠点の形成を目指します。
- 心豊かなふれあいを大切にし、緑豊かな魅力ある街なみの形成を目指します。
- 良好な市街地環境づくりを目指します。

## 3) 地域のまちづくりの方針

### ① 魅力ある商業環境づくり

#### ● 商業機能と居住機能の強化・充実

- ◇ 利便性の向上と新たな交流を育むため、辰野駅前商業地と辰野駅裏住宅地との連絡機能を強化します。整備にあたっては、地元住民やJR及び関係機関等と協議・調整をしながら一体的な土地利用形成の実現に向けた検討をしていきます。
- ◇ 生活拠点として、商業機能と居住機能との連携を図りながら、人が集まり、交流が生まれ、情報が受発信されるような魅力ある商業環境を整えます。特に辰野駅から役場周辺にかけての地域は、辰野町の「顔」づくりとして必要な機能が備わっていることから、用途地域の見直しや中心市街地再生のための街なみ整備事業等の導入を検討し、商業機能及び居住機能の拡充・強化をします。

---

## ● にぎわいとふれあい空間の創出

- ◇ 下辰野・宮木・平出地区の商業地では、相互の連携を図りながら生活拠点及び辰野町のシンボル性をもつ街なみとして、利便性や一体性の向上を図るとともに、にぎわいとふれあい空間を創出するため、緑豊かな回遊性のある歩行者空間の整備（プロムナードの整備）と駐車場の確保を推進します。整備にあたっては、誰もが安全で、楽しく歩けるようなバリアフリーの整備を推進します。

## ② 良好な住宅地の形成

### ● 緑豊かな低層住宅地の保全・改善

- ◇ 国道153号の西側は、湯舟団地、泉水団地、新町南原土地区画整理事業区域等、戸建て住宅地や低層共同住宅地が既に形成されていることから、街区周辺の緑と調和のとれた豊かな環境の維持・保全を図ります。
- ◇ 上辰野の北部及び新町の西部については、地形的条件に配慮しながら道路の拡幅整備などによる住宅地の整備・改善を図り、良好な低層住宅地として計画的な土地利用を誘導します。特に上辰野については、東西方向の生活道路の整備を推進し、周辺環境に配慮しつつ緑豊かな低層住宅地としての整備・改善を図ります。

### ● 利便性の高い住宅地の形成

- ◇ 辰野町役場周辺及び商業地周辺の住宅地は、情報・文化及び商業機能、サービス機能、居住機能等多様な都市機能が集積していることから、商業環境と連携のとれたにぎわいの創出を図るとともに、豊かな暮らしを支える機能の備わった利便性の高い住宅地としての整備を進めます。
- ◇ 北部土地区画整理事業区域における宅地化の推進を図ります。
- ◇ 主要な幹線道路沿道については、近隣住民や道路利用者の利便性向上のため、周辺の居住環境に配慮しながら沿道型土地利用の形成を図ります。
- ◇ 都市計画道路新町宮所線沿道については、計画的な土地利用を誘導します。

## ③ 秩序ある産業系土地利用の推進

- ◇ 秩序ある土地利用の形成を図るために、宮木駅周辺からその南側一帯について、流通・業務系土地利用の整備・誘導を図ります。
- ◇ 工業地は、産業の増進を担う役割として今後も維持・整備し、計画的な土地利用を誘導します。
- ◇ 工業地周辺には良好な住宅地が形成されていることから、住工混在地域における住環境の保護・改善対策として、工場敷地内の緑化の促進等を要請していきます。

#### ④ いきいきと活動し、地域相互の連携を図る道路網の形成

##### ● 主要幹線道路の整備

- ◇ 近隣市町村及び各地域との連携を図るとともに中心市街地への入口として、国道153号、主要地方道下諏訪辰野線、主要地方道伊那辰野停車場線の交通機能の強化・充実を図ります。整備にあたっては、安全性の確保と交通渋滞の緩和に配慮します。

##### ● 都市計画道路の整備

- ◇ 利便性の向上と市街地地域の環状道路網の形成を図るため、都市計画道路新町宮所線、新町赤羽線の整備を推進します。
- ◇ 利便性の向上と地域に密着した安全で効率的な道路網の形成を図るため、地域住民及び関係機関等と協議しながら、都市計画道路辰野宮前線、下諏訪伊那線、辰野越道線、竜東線の整備実現を図ります。

##### ● 生活道路の整備

- ◇ 幹線道路に接続する道路の改善、歩行者の安全、緊急車両の進入路確保等のため、建物密集度の高い地域における幅員の狭い道路について、拡幅整備を進めます。

#### ⑤ 緑豊かな快適な空間づくり

##### ● 水と緑のネットワークづくり

- ◇ 地域の中央を天竜川、横川川等の河川が流れており、隣接している地域の河川沿いには緑の核となるほたる童謡公園、荒神山公園があります。また、天竜川、横川川から市街地と各集落を結ぶ河川が流れています。そのため、河川周辺にある樹林地等の緑を活用し、連続性のある快適な空間づくりを促進します。
- ◇ 都市計画道路等の幹線道路は、道路沿いのオープンスペースの確保と地域の特性に応じて街路樹等の緑化を誘導し、快適な空間づくりを促進します。
- ◇ 地域住民のやすらぎと憩いの場として、地域の特性に応じて適正な公園の配置を検討します。

##### ● うるおいのある景観づくり

- ◇ 商業地においては、町民や来訪者等の多様な人達が出会う交流の場であるとともに、豊かな暮らしを創出する生活拠点として、中心市街地商業等活性化基本計画に基づき、歩いて楽しくなるような魅力ある景観づくりを推進します。
- ◇ 住宅地においては、斜面緑地や樹木、社寺林等の緑を活用するとともに敷地内の緑化を誘導し、うるおいのある景観づくりを進めます。

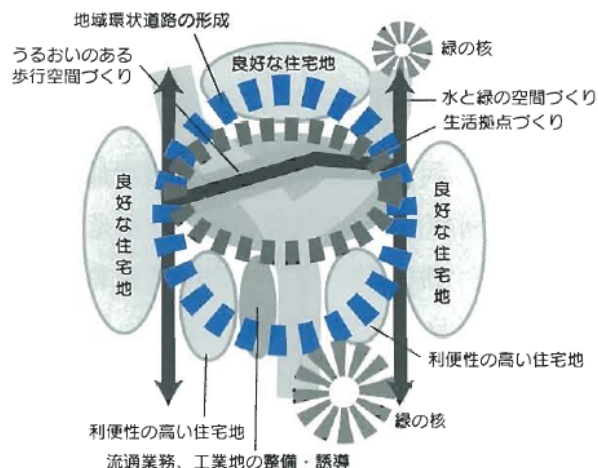
## 地域の重点整備施策の課題

### ● 地区計画の推進

- ◇ 辰野駅前土地区画整理事業は廃止となり、安全で快適な市街地環境の形成を図るため、住民発意による地区計画の導入を地区住民と協力しながら進め、公共施設の配置や建築物の形態等を総合的に計画し、建築行為や開発行為を適正に規制・誘導するとともに、各種都市基盤施設の整備を推進します。また、駅前広場と生活環境の改善、防災面の改善などについて、地区住民の意向を把握しつつ十分な議論を踏まえたまちづくりを計画的に進めます。

- ◇ 地区計画区域の土地利用は、生活道路や広場を段階的に整備し、商業、福祉、医療施設の維持・立地を図り、町民の交流と情報、憩いの場を確保するなど、商業機能及び福祉施設と居住機能等が融和し、豊かな暮らしを創出するよう計画的な土地利用を誘導します。

### ■ 地域の整備イメージ



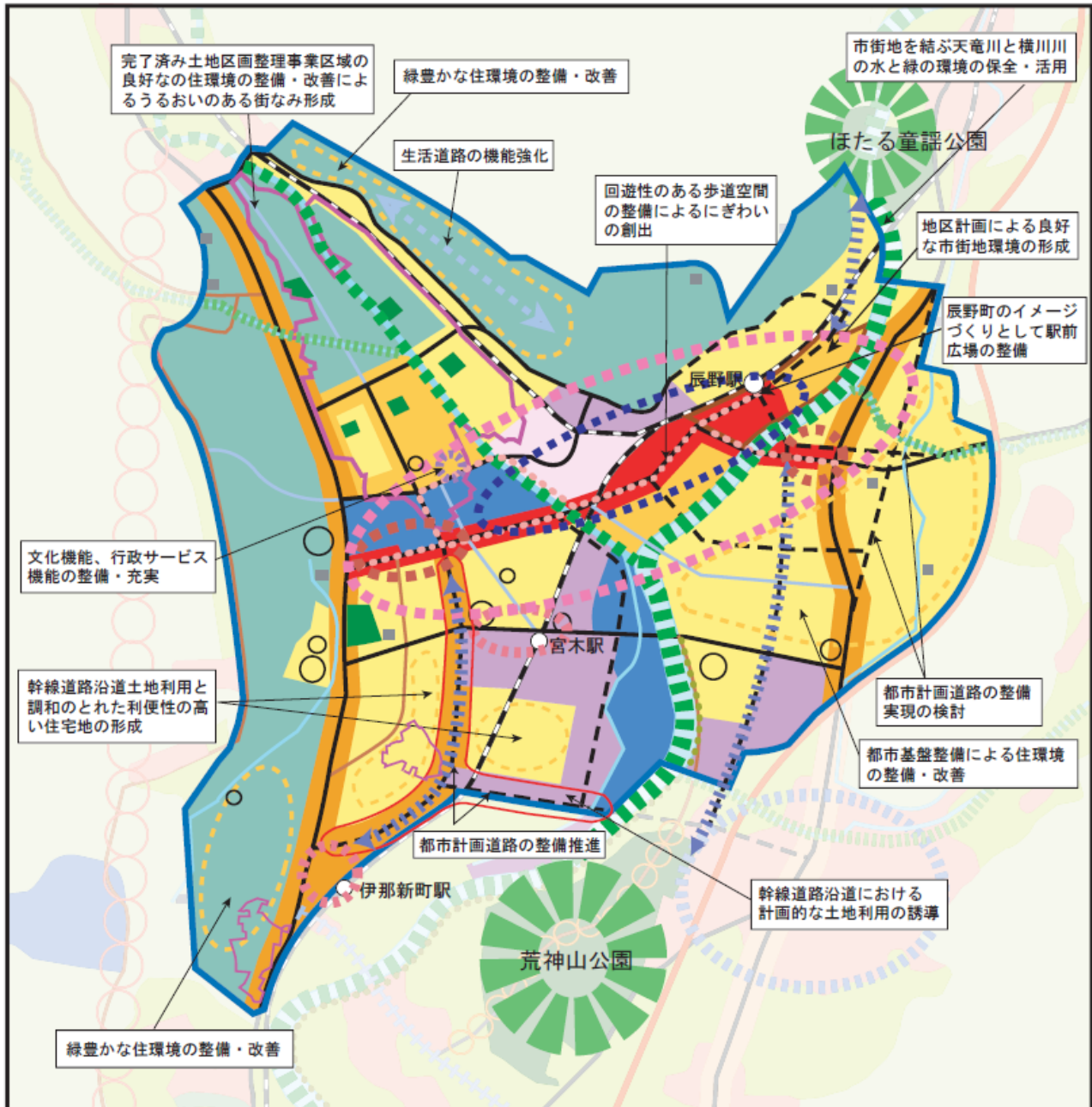
### ● 町の玄関口としてのイメージアップ

- ◇ 情報の受発信基地として、観光情報センターの機能を充実し、新たな交流を育みます。
- ◇ 町の「顔」であるとともに交流を育む玄関口として、辰野駅前広場の整備を推進します。整備にあたっては、観光情報センターと一体的な土地利用の実現を図るとともに、ポケットパークの適正な配置や緑化の推進等うるおいのある快適な空間づくりを検討していきます。

### ● 美しい街なみの形成

- ◇ 美しい街なみの形成を図るため、下辰野、宮木、平出地区の各商店街においては、住民協定の締結により魅力ある景観づくりをするよう誘導していきます。
- ◇ 北部土地区画整理事業、原土地区画整理事業、新町南原土地区画整理事業及び住宅団地等の面整備済みの区域においては、緑化協定や住民協定、地区計画制度の導入等を検討し、計画的な土地利用の誘導により美しい街なみの形成を図ります。

## 市街地地域のまちづくりの方針図



凡		例	
低層住宅地	工業地	緑の核	学校、保育所、病院等
中低層住宅地	公園・緑地	土地区画整理事業区域（完了済み）	社寺、史跡等
商住融合住宅地	地域にぎわいエリア	地区計画区域	主要幹線道路
沿道型住宅地	生活拠点エリア	地域交流連携軸	未整備都市計画道路
商業・業務地	地域交流エリア	水と緑の環境軸	補助幹線道路
複合商業地	文化・行政サービスエリア	水と緑の空間軸	主要生活道路
流通・業務系土地利用	地区の交流エリア	プロムナードの整備	鉄道
			主な河川、用水路

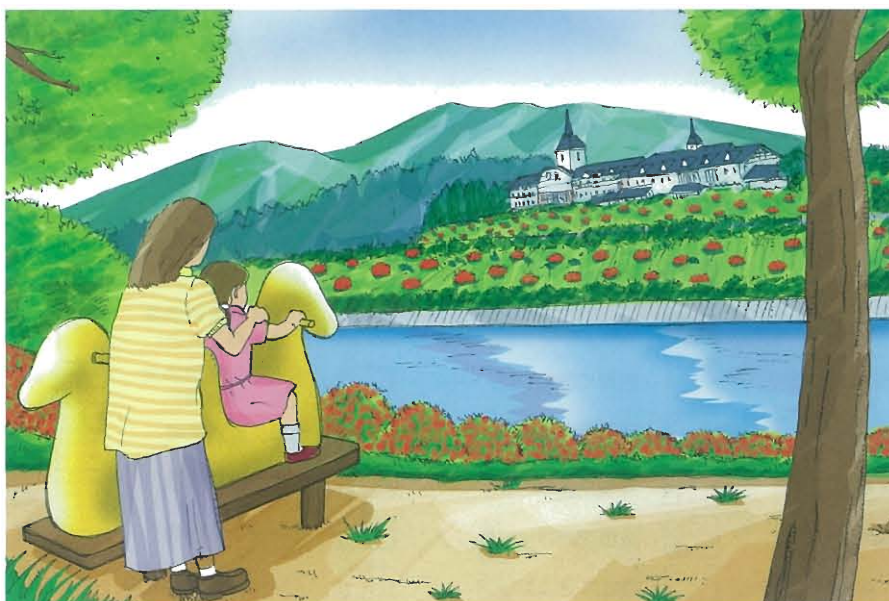
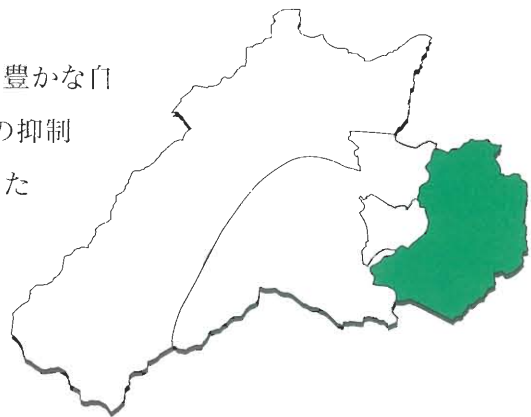


### 3 東部地域のまちづくりの方針

#### ～ 自然と調和した快適な農山村環境エリア ～

##### 1) 地域の現状と課題

- ◇ 本地域は都市計画区域の市街地地域以外で、天竜川の東側に位置しています。
- ◇ 市街地周辺及び主要な道路周辺に圃場整備による良好な農地と集落地が形成されています。
- ◇ 本地域には辰野町を代表する荒神山公園があり、情報発信や交流イベントも多く緑の核となっており、広域的な観光地として位置づけられてきています。
- ◇ 地域の北部には西と東に緑の核があり、西の緑の核はほたる童謡公園を中心としたホテル発生地にあたり、東の緑の核はふくじゅ草の自生地にあたります。この2つの緑の核は、それぞれ豊かな自然を背景として、人々にやすらぎを与える重要な環境資源となっています。
- ◇ 上の原住宅団地等良好な住宅地が形成されていますが、幹線道路沿道には相次いで店舗等が進出してきており、矢沢原には宅地のスプロール化が進行しつつあります。
- ◇ 本地域は、ホテルを中心とした生態系の保全と豊かな自然環境の保全を図るとともに、無秩序な宅地化の抑制による計画的な土地利用の誘導、自然と調和した集落環境の維持・向上が望まれます。また、多様な交流を育むために、近隣市町村や各地域との連携を図りながら、荒神山公園の一層の整備・充実が必要です。



## 2) 地域の将来像と目標

東部地域の将来像とまちづくりの目標を次のように設定します。

### ■ 地域の将来像

人と自然が織りなす  
ふれあいとやすらぎのある快適なまち

### ■ 地域のまちづくりの目標

- 自然と調和し、暮らしやすい環境の整ったまちを目指します。
- 心豊かなふれあいの中で、新たな交流が生まれるまちを目指します。
- 自然を身近に感じ、いきいきと活動しやすいまちを目指します。

## 3) 地域のまちづくりの方針

### ① 自然風景の保全と活用

#### ● 里山における農村風景の保全

◇ 沢底地区、平出上野地区に形成されている集落地は、山並み景観や田園景観及びせせらぎのある河川等により美しい農村風景を醸し出しています。そのため、これらの農村風景は今後も維持・保全を図るとともに、昔ながらのふるさとを意識した景観づくりをすすめます。

#### ● 田園風景の保全

◇ 樋口地区の農地は、農業生産に大きく寄与しているとともに、良好な田園風景を形成しています。田園風景は、豊かな暮らしを創出する重要な環境資源となっているため、今後も維持・保全を図ります。

---

## ● 水質の保全と水と緑の創出

- ◇ 天竜川は、地域を結ぶ重要な環境資源であることから、水質の保全を図るとともに、河川沿いにおけるオープンスペースの確保と緑化の推進等により快適な水と緑の空間づくりを進めます。特に、ほたる童謡公園周辺はホタルの発生地であり、水質の保全と合わせて生態系や植物の保全を図ります。
- ◇ 沢底川及び上野川等の河川は、市街地と集落を結ぶ環境資源であることから、連続性のある水と緑の空間を創出します。

## ② 適正な土地利用の誘導

### ● 幹線道路沿道への適正な土地利用の誘導

- ◇ 地域住民の利便性の向上を図るため、主要地方道伊那辰野停車場線沿道に日常サービス機能等の土地利用を誘導します。但し、住環境に配慮するため、地域の特性に応じた適正な土地利用を図ります。
- ◇ 都市計画道路新町赤羽線沿道は、地域の実情に応じた適正な土地利用を誘導していきます。

### ● 都市的土地利用への検討

- ◇ 矢沢原は広大な農地として利用されているため、宅地化としての整備が可能か、上水道、道路、排水計画を考慮して農政との調整を図りながら良好な住宅地への土地利用転換を検討していきます。

## ③ のどかさのある集落環境の形成

### ● 自然環境を活用した集落環境の形成

- ◇ 地域の集落地は豊かな自然環境に囲まれ、集落地内には社寺林や河川等があります。そのため、これらの自然環境を活用し、のどかさのある集落環境の形成を図ります。赤羽地区については、無秩序な宅地化を抑制し、環境に配慮しながら適正な土地利用を誘導します。

### ● 生活支援機能の充実

- ◇ 地域コミュニティ向上のため、集会施設や公園、広場等の整備・充実を検討していきます。

#### ④ 交流と豊かな暮らしを支える環境整備

##### ● 交流を育む拠点づくり

- ◇ 心豊かなふれあいと町民や来訪者等の多様な人々の交流を育むとともに、健康リフレッシュエリアとして、荒神山公園の一層の整備・充実を図ります。
- ◇ 町民のやすらぎと憩いの場として、ほたる童謡公園の整備を推進します。整備にあたっては、山並み景観、田園景観、水辺景観等との調和を図ります。
- ◇ ふくじゅ草の自生地が分布している地域においては、町のシンボリックな緑の拠点として保全・活用を図ります。

##### ● 活動しやすい道路の整備

- ◇ 主要地方道伊那辰野停車場線は、地域住民にとって近隣市町村や地域間を移動するための重要な路線であり、通過交通量も多いことから、安全性の確保と円滑に移動できるよう交通機能の強化・充実を図ります。
- ◇ 幅員の狭い生活道路の整備を計画的に進めます。
- ◇ 荒神山公園の周辺道路整備を検討します。
- ◇ ふるさと林道（仮称）の整備を検討します。

#### 地域の重点整備施策の課題

##### ● 生活道路の整備

- ◇ 各地域間や荒神山公園への交通機能を強化するため、県道と地辰野線及び生活道路の整備を推進します。

##### ● 荒神山公園、ほたる童謡公園の整備

- ◇ 広域的な観光地として、地域住民や関係機関との協議・調整を図りながら、荒神山公園及びほたる童謡公園の整備・拡充を図ります。
- ◇ ほたる童謡公園の整備を推進します。

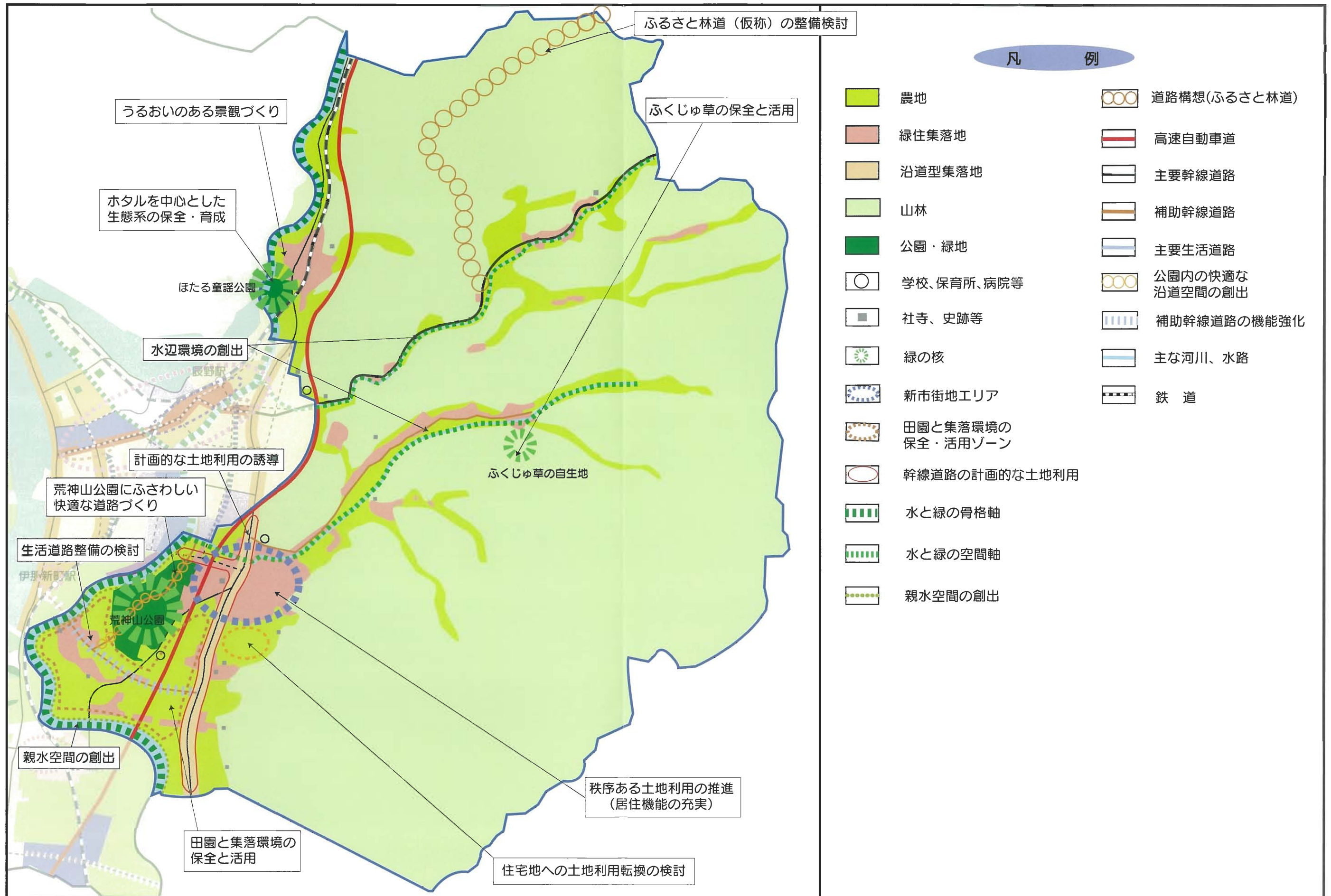
##### ● 土地利用の規制誘導

- ◇ 幹線道路沿道及び赤羽地区等の宅地化の進行する可能性がある地域においては、建物の建築制限を推進し、地域にあった適正な土地利用を誘導していきます。

##### ● 良好な景観づくり

- ◇ ほたる童謡公園周辺は山並み景観、田園景観、水辺景観等良好な景観を醸し出しています。さらに一層の美しい景観づくりを推進するために、住民協定の締結を図ります。

# ■ 東部地域のまちづくりの方針図



## 凡例

- 農地
- 緑住集落地
- 沿道型集落地
- 山林
- 公園・緑地
- 学校、保育所、病院等
- 社寺、史跡等
- 緑の核
- 新市街地エリア
- 田園と集落環境の保全・活用ゾーン
- 幹線道路の計画的な土地利用
- 水と緑の骨格軸
- 水と緑の空間軸
- 親水空間の創出
- 道路構想(ふるさと林道)
- 高速自動車道
- 主要幹線道路
- 補助幹線道路
- 主要生活道路
- 公園内の快適な沿道空間の創出
- 補助幹線道路の機能強化
- 主な河川、水路
- 鉄道

## 4 西部地域のまちづくりの方針

### ～ 自然環境（田園風景）と調和した活力ある農業環境エリア ～

#### 1) 地域の現状と課題

- ◇ 本地域は都市計画区域の市街地地域以外で、天竜川の西側に位置しています。
- ◇ 広大な森林に囲まれ、市街地地域と主要な道路周辺を農業地域として利用しています。農業地域の中央を国道153号と鉄道が南北を縦断して、その周辺に良好な農用地と農村集落地が形成されています。
- ◇ この地域の北側地区の土地利用は横川川によって西と東に分断され、自然環境と調和のとれた集落地が形成されています。
- ◇ この地域の南側地区の西は、山並み風景と田園風景等により美しい景観を醸し出しています。広範囲にわたり圃場整備が行われ、生産性の高い農地であるため、辰野町をリードする積極的な生産活動エリアに位置づけられているとともに、伊北インターチェンジに隣接し、利便性の高いことから宅地化の適地として利用されています。さらに、新町工業団地と北沢工業団地が形成され、産業活動の展開が行われています。
- ◇ 本地域は、豊かな自然と調和し、美しい田園景観の保全と創出により田園風景と一体となった土地利用の形成を図るとともに、無秩序な宅地化を抑制し、計画的な土地利用を誘導することが望まれます。また、インターチェンジに隣接している地の利を活かして、観光的活用を含めて特徴ある農業と工業等の活力あふれる産業活動の増進を図る必要があります。



---

## 2) 地域の将来像と目標

西部地域の将来像とまちづくりの目標を次のように設定します。

### ■ 地域の将来像

自然環境と調和し、  
活力あふれる産業と豊かな暮らしを創出するまち

### ■ 地域のまちづくりの目標

- 豊かな自然に守られ、うるおいのある快適なまちを目指します。
- 自然環境と調和のとれた活力ある産業のまちを目指します。
- 質の高い居住環境と安全で移動しやすいまちを目指します。

## 3) 地域のまちづくりの方針

### ① 自然環境の保全と活用

#### ● 田園風景の保全と活用

- ◇ 羽場、北大出地区における広大な農地は、豊かな暮らしを支える重要な資源であり、農業生産の向上に寄与しているとともに、美しい田園風景を創出していることから排水路整備を検討し、今後も維持・保全を図ります。
- ◇ 宅地化が進行している地区については、計画的な土地利用の誘導により無秩序な宅地化を抑制し、農地の流動化や集団化等を図り、田園風景の保全・育成をしていきます。

#### ● 集落環境の保全

- ◇ 豊かな自然環境と調和のとれた既存の集落地は、今後も維持し、緑地や貴重な樹木等を活用したうるおいのある集落環境の保全を図ります。

### ● 水辺環境の保全と活用

- ◇ 横川川、小横川川、北の沢川、西天竜幹線水路等は、周辺の田園環境と調和のとれた水辺環境の創出を図ります。
- ◇ 天竜川沿いは、田園環境と水辺環境を活用した親水空間の創出を図ります。

## ② 質の高い居住環境

### ● 適正な土地利用の誘導

- ◇ 南の玄関口である国道153号沿道は、緑を活用したうるおいのある集落環境と小規模な店舗、自動車関連施設等のサービス機能を有する沿道土地利用とが調和するように、適正な土地利用を誘導します。

### ● 遊休荒廃農地の有効活用

- ◇ 山間部の遊休荒廃農地の多い地区については、地域住民と協議・検討しながら公園、広場の整備等により土地利用の有効活用を図ります。

### ● 新市街地エリアの充実

- ◇ 北大出鞍掛、羽場駅周辺及び国道153号周辺は、新市街地エリアとして位置づけ、沿道土地利用と集落環境との調和をとりながら、インターチェンジに隣接している地の利を活かして、利便性の向上等による質の高い住環境の形成を図ります。

## ③ 移動しやすい交通基盤整備

### ● 幹線道路の整備

- ◇ 安全性の確保と交通渋滞の緩和を図るため、国道153号の整備を進めます。
- ◇ 広域市町村への利便性の向上を図るとともに、通過交通量を配慮し、各地域間の活動を円滑にするため、国道153号バイパスの整備を要請していきます。

### ● 生活道路の整備

- ◇ 生活道路の整備を推進し、地域での移動しやすい交通基盤を整えます。

### ● 快適な道路空間の整備

- ◇ 周辺の自然環境と調和した快適な道路空間の整備を推進します。特に、北沢工業団地の中央を横断する道路は、良好な工業地と田園風景が調和し、快適に移動できるよううるおいのある道路づくりを進めます。



---

## ④ 活力ある産業の振興

### ● 観光的農業の振興

- ◇ インターチェンジに隣接している地の利を活かして、市民農園や体験施設等の整備を検討し、農業とふれあえる特徴ある観光的な農業の振興を図ります。

### ● 産業活動の増進

- ◇ 北沢工業団地は、団地内の道路沿道や工場敷地内等の緑化を推進し、良好な工業地の形成を図ります。また、インターチェンジに隣接している地の利を活かした産業活動の増進を図ります。
- ◇ 新町工業団地は優良企業の立地が進んでおり、さらに一層の企業誘致を推進し良好な工業地の形成を図ります。

## 地域の重点整備施策の課題

### ● 国道153号バイパス整備の早期実現

- ◇ 交通渋滞の緩和や広域的な都市活動等を円滑にするため、国道153号バイパスの早期実現に向けて、地域住民や関係機関等との協議・調整をしながら、国及び県へ積極的に整備の要請をしていきます。

### ● 道路の機能強化

- ◇ 県道与地辰野線早期実現の検討及び国道153号渋滞対策としての新設道路の検討をします。
- ◇ 地域への移動を円滑にするため、生活道路の整備を計画的に進めます。

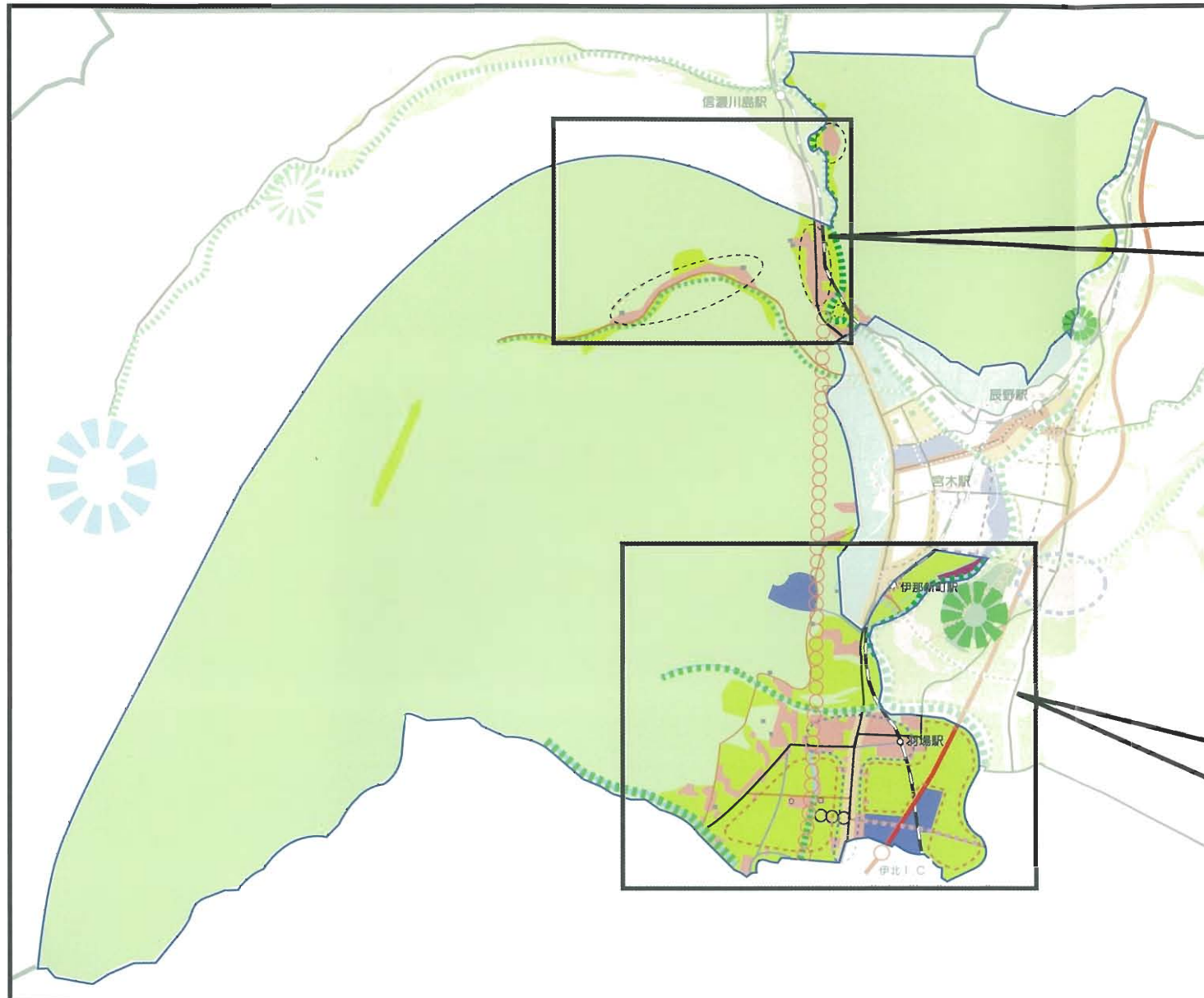
### ● 田園風景と一体となった秩序ある土地利用の推進

- ◇ 宅地化の進行している幹線道路沿道においては、建築制限等の土地利用規制により適正な土地利用を図ります。
- ◇ 地域の特性に応じた居住機能の充実を図るとともに、田園風景と一体となったうまいのある景観づくりを進めます。必要に応じて集落地区計画による整備を検討していきます。

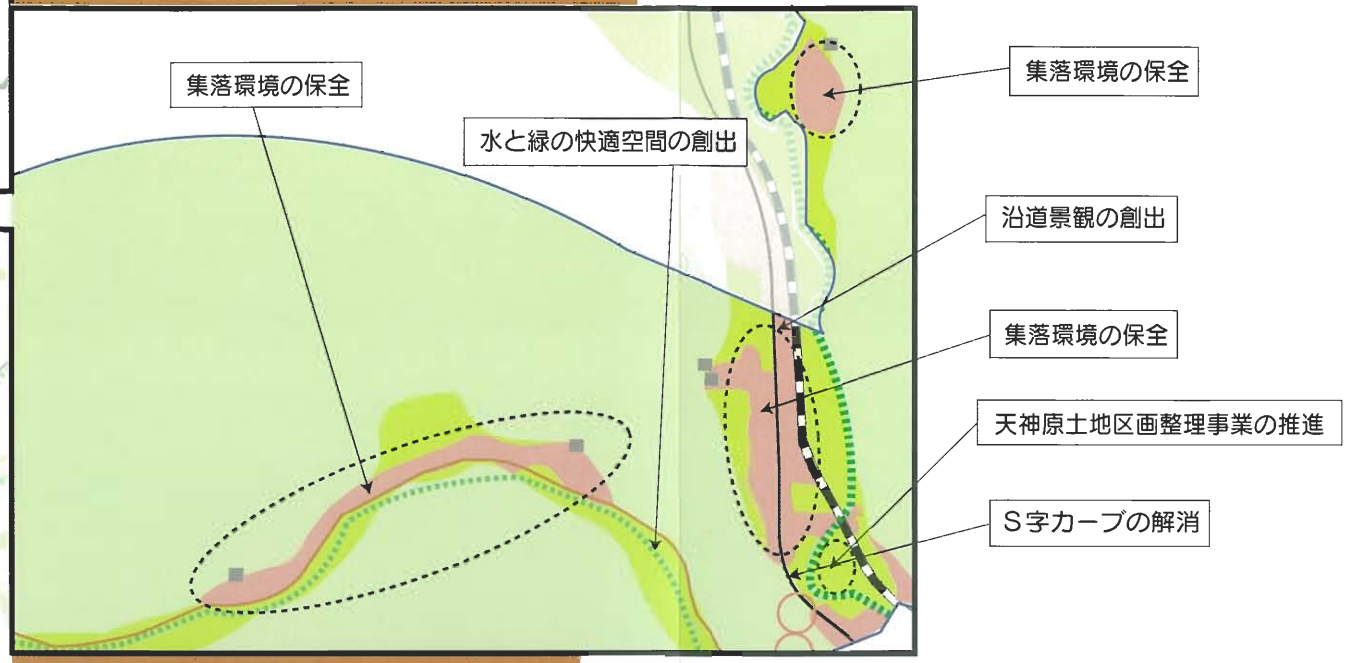
### ● 国道153号徳本水地籍のS字カーブの解消

- ◇ 危険な国道153号徳本水地籍のS字カーブを解消するため、国道改良工事を国及び県へ積極的に要請していきます。
- ◇ この改良工事に関連し、隣接している天神原地区一帯の区画整理事業を推進します。

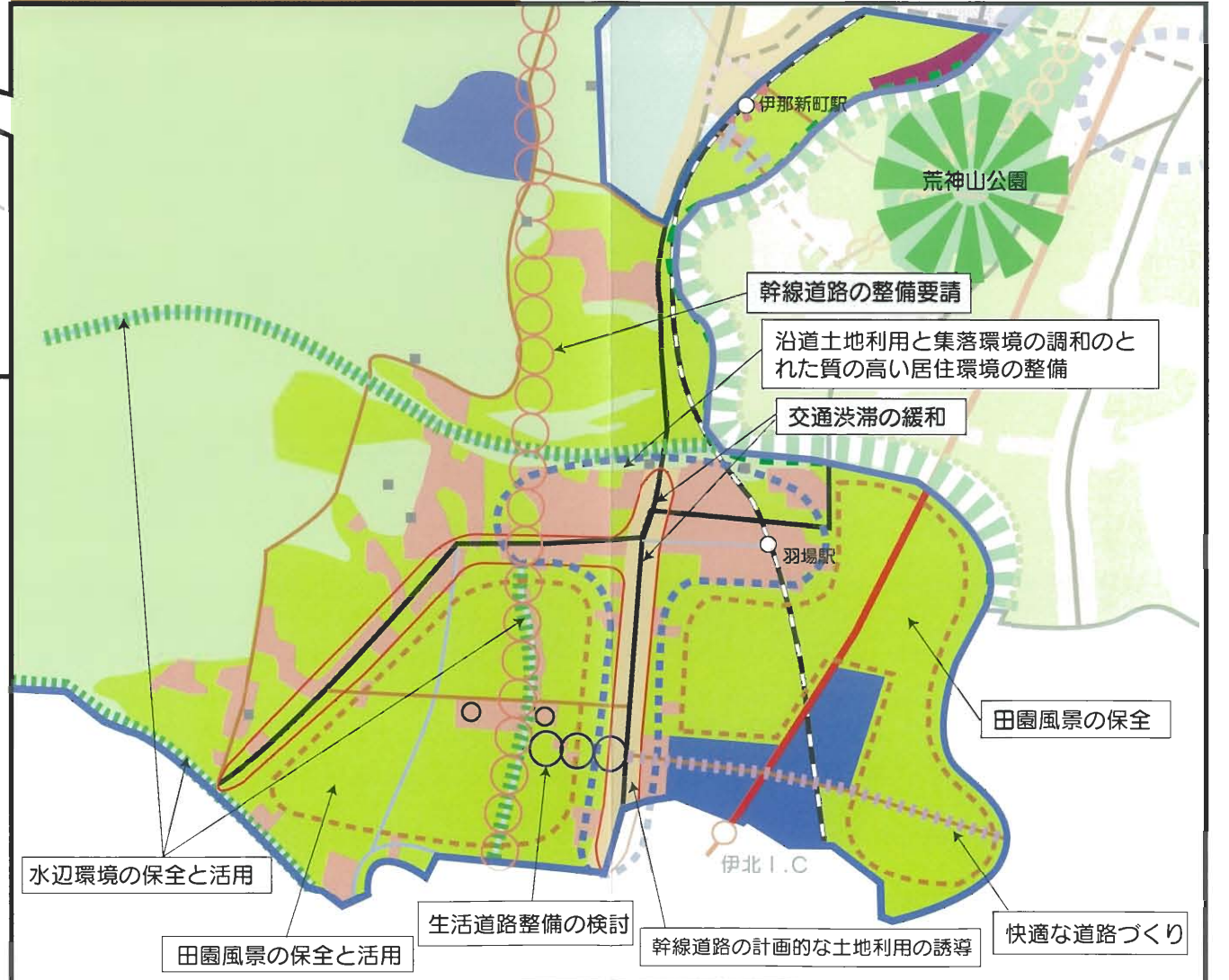
# 西部地域のまちづくりの方針図



## 今村・唐木沢・小横川地区



## 新町・羽場・北大出地区



### 凡 例

- |              |               |            |
|--------------|---------------|------------|
| 工業地          | 学校、保育所、病院等    | 鉄 道        |
| 農地           | 社寺、史跡等        | 主な河川、水路    |
| 緑住集落地        | 幹線道路の計画的な土地利用 | 緑の核        |
| 沿道型集落地       | 水と緑の骨格軸       | 新市街地エリア    |
| 山林           | 水と緑の空間軸       | 田園風景保全ゾーン  |
| 公園・緑地        | 主要幹線道路        | 集落環境の保全ゾーン |
| 都市施設（浄化センター） | 補助幹線道路        |            |
| 道路構想（幹線道路）   | 主要生活道路        |            |
| 道路構想（補助幹線道路） | 補助幹線道路の機能強化   |            |

## 5 北部地域のまちづくりの方針

### ～ 自然と歴史・文化にふれあうふるさと環境エリア ～

#### 1) 地域の現状と課題

- ◇ 本地域は町の北部に位置し、都市計画区域外の小野と川島地区にあたります。
- ◇ 地域の90%以上が山林で、国道153号、県道榑川岡谷線、県道川上唐木沢線周辺に良好な農地と集落地が形成されています。
- ◇ 地域の北部には小野宿と矢彦神社等をはじめとする歴史的建物が多く存在し、旧街道沿いには自然環境と調和のとれたのどかさのある集落地が形成されています。
- ◇ 横川川に沿って発達した農山村地域は、美しい山並み景観、田園景観等と調和のとれた環境の整った集落地が形成されていますが、過疎化が進んでおり、空き家も増えています。
- ◇ 農業体験や生活の知恵を学ぶ施設として信州たつのふる里農村公園が整備され、また自然とふれあえる観光地としてしだれ栗森林公園、横川溪谷があり、これらの観光地は町民や来訪者等の多様な人々にうらおいとやすらぎを与えてくれます。
- ◇ 本地域は、豊かな自然環境と歴史・文化を活かしたのどかさのある環境整備を進めるとともに、Iターン・Uターン者、田舎暮らし指向者への情報発信を行い、空き家の有効活用等住宅施策の充実を図る必要があります。また、広大な自然を活かして、うらおいのある交流拠点づくりを進めることが望まれます。



---

## 2) 地域の将来像と目標

北部地域の将来像とまちづくりの目標を次のように設定します。

### ■ 地域の将来像

自然と歴史・文化を活かし、  
ふるさとを感じられるのどかなまち

### ■ 地域のまちづくりの目標

- 自然と歴史・文化を活かした街なみの形成を目指します。
- 美しい自然景観を守り育て、のどかさのある暮らしやすい環境の整ったまちを目指します。
- 自然とふれあいを求め、多様な人々が訪れるようなうらおいのある交流拠点の形成を目指します。

## 3) 地域のまちづくりの方針

### ① 自然と歴史的環境の保全と創出

#### ● 自然景観の保全と創出

◇ 地域の特徴である個性的な自然景観は、地域における豊かな暮らしを創出する資源であり、来訪者にふるさとを感じさせ、辰野町らしさや印象を実感させる重要な役割を果たします。この素晴らしい自然景観は今後も維持・保全を図るとともに、周辺の水と緑を活用して、より一層の美しい景観を創出していきます。

#### ● 歴史的街なみの保全と創出

◇ 宿場町としての面影のある歴史的建物が連担して立地している小野宿、矢彦神社周辺は、歴史文化の核として今後も維持・保全を図るとともに、国道153号の整備や沿道緑化等によりうらおいのある歴史的街なみを創出します。

## ② 集落環境の保全と整備

### ● 集落景観の保全と創出

- ◇ 小野、川島地区の集落地は、自然景観及び社寺林や屋敷林等により美しい集落景観を創出しています。これらの集落景観の維持・保全を図るとともに、地域の特性に応じた環境整備により新たな景観を創出します。

### ● 居住環境の整備

- ◇ 中島団地等公営住宅の建替えを推進します。
- ◇ 空き家の有効活用を図ります。
- ◇ 住みやすい環境の整備を推進します。

## ③ 交通機能の整備・充実

### ● 安全で効率的な幹線道路の整備

- ◇ 利便性の向上や安全性の確保、交通渋滞緩和等のため、国道153号の機能の強化・充実を図るとともに、新たな交通機能として国道153号バイパスの整備を要請していきます。

### ● 沿道景観の創出

- ◇ 北部地域と市街地を結ぶ国道153号沿いは集落、農地、河川等が連なり、町の南北を縦断して、集落、人を結びつける重要な機能としての役割を果たしており、交通量も多いことから、辰野町を印象づける沿道景観を創出します。

### ● 駅前周辺の整備

- ◇ 地域の人が集まる場所として、小野駅及び信濃川島駅前周辺の整備を促進します。

### ● 公共交通の充実

- ◇ 公共交通は、車を運転できない子供や老人の足として重要であることから、公共交通のあり方を地域住民や関係機関等と協議・検討しながら、JRへ運行回数の増強等の要請を積極的に行うとともに、町営バス交通の運営充実を図ります。

## ④ 自然とのふれあい交流拠点づくり

### ● 交流拠点の整備・充実

- ◇ 信州たつのふる里農村公園、横川溪谷、しだれ栗森林公園は、交流拠点としてより一層の整備・充実を図ります。

---

## ● 交流拠点相互の連携

- ◇ 交流拠点相互の連携と利便性の向上のため、国道153号からしだれ栗森林公園への道路整備を推進します。

## ■ 地域の重点整備施策の課題

### ● 国道153号バイパス整備の検討

- ◇ 関係機関との協議・調整をしながら国道153号バイパスの早期実現に向けて、国・県へ積極的に整備の要請をしていきます。

### ● 定住化の促進、人口の増加

- ◇ ファミリー世帯の流出が顕著であることから、空き家の有効活用や良好な住宅地の確保・整備等、総合的な居住環境の整備を検討し、定住化の促進、人口の増加を図ります。

### ● 公営住宅の建替え事業の推進

- ◇ 現在の住宅施策として、小野駅前周辺に公営住宅の整備を推進します。整備にあたっては、高齢者に配慮した住宅の整備を推進するとともに、鉄道利用者への配慮として、地域住民と協議しながら快適な空間を創出します。

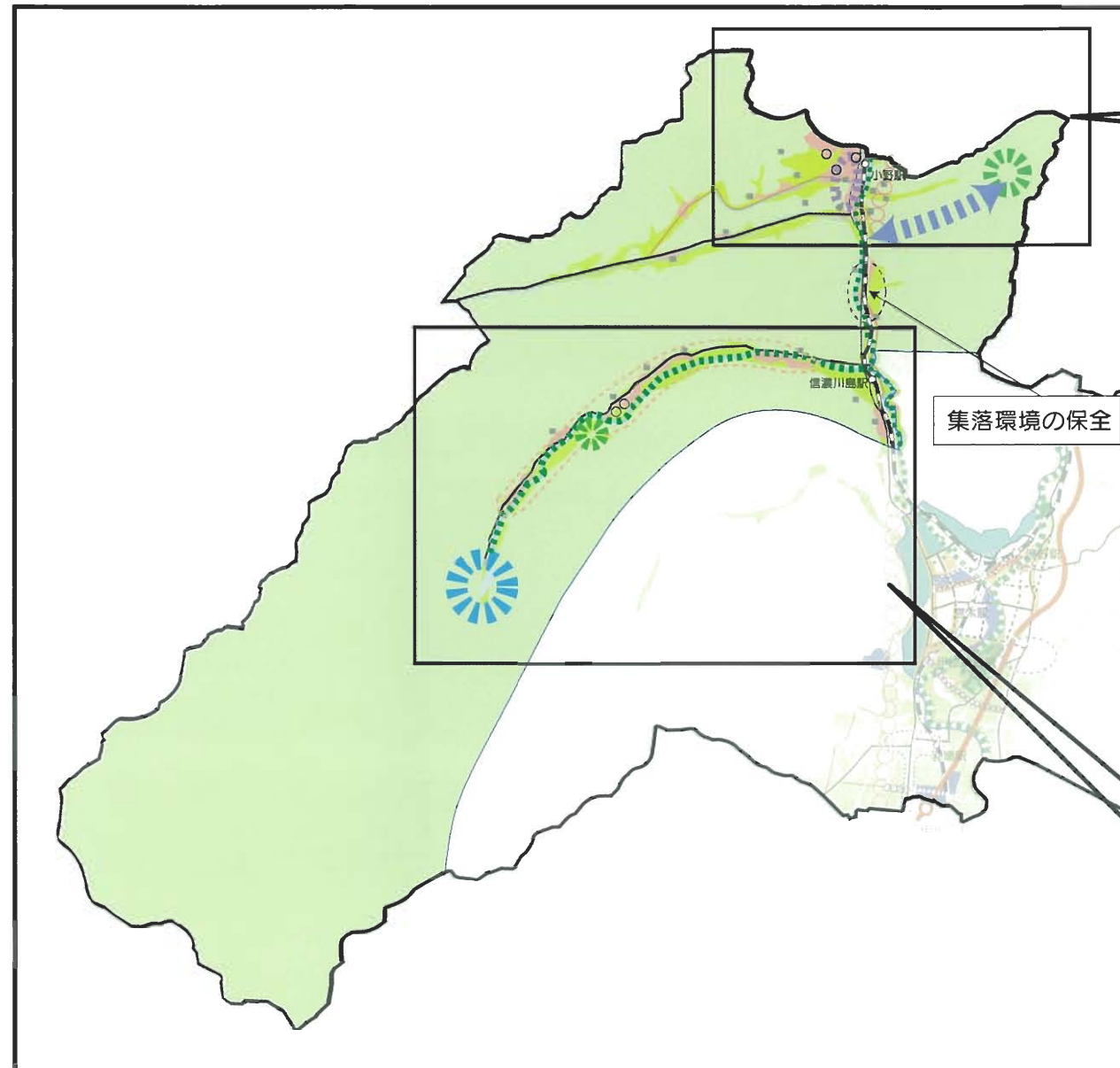
### ● 良好な景観づくり

- ◇ 辰野町らしさを特徴づける地域においては、住民協定の締結により良好な景観づくりを推進します。特に、川島地区においては積極的に住民協定の締結を図ります。

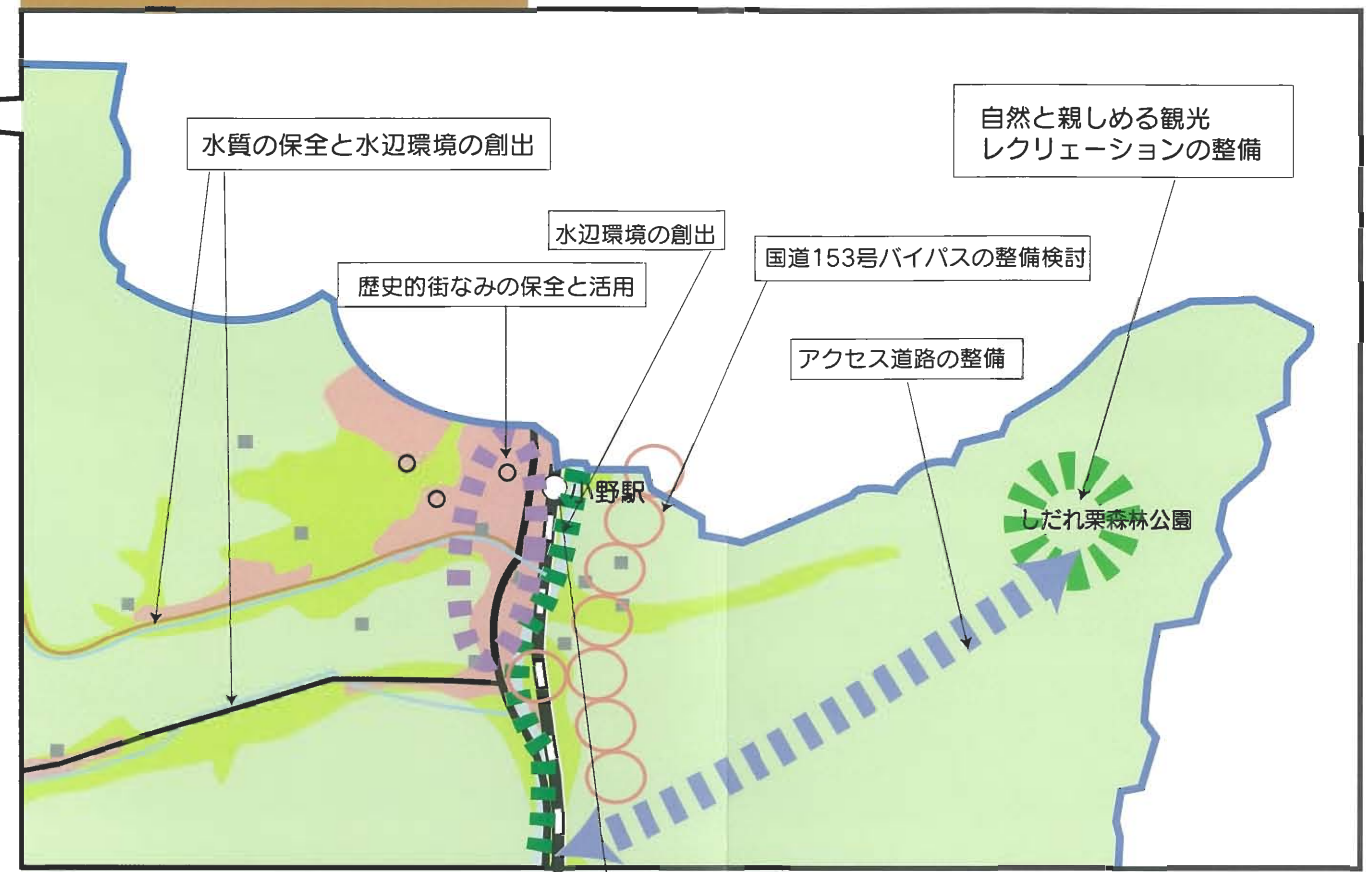
### ● 交流拠点の整備・充実

- ◇ 信州たつのふる里農村公園は宿泊機能もあることから、多様な体験メニューやレクリエーション施設の充実を図ります。また、周辺にある遊休荒廃地を活用した市民農園の整備等一体的な土地利用の形成を図り、利用者との交流により活性化を図ります。
- ◇ 横川溪谷やしだれ栗森林公園をレクリエーション拠点として、より一層の整備を推進し、町民や来訪者のやすらぎと憩いの場としての機能を強化・充実をします。

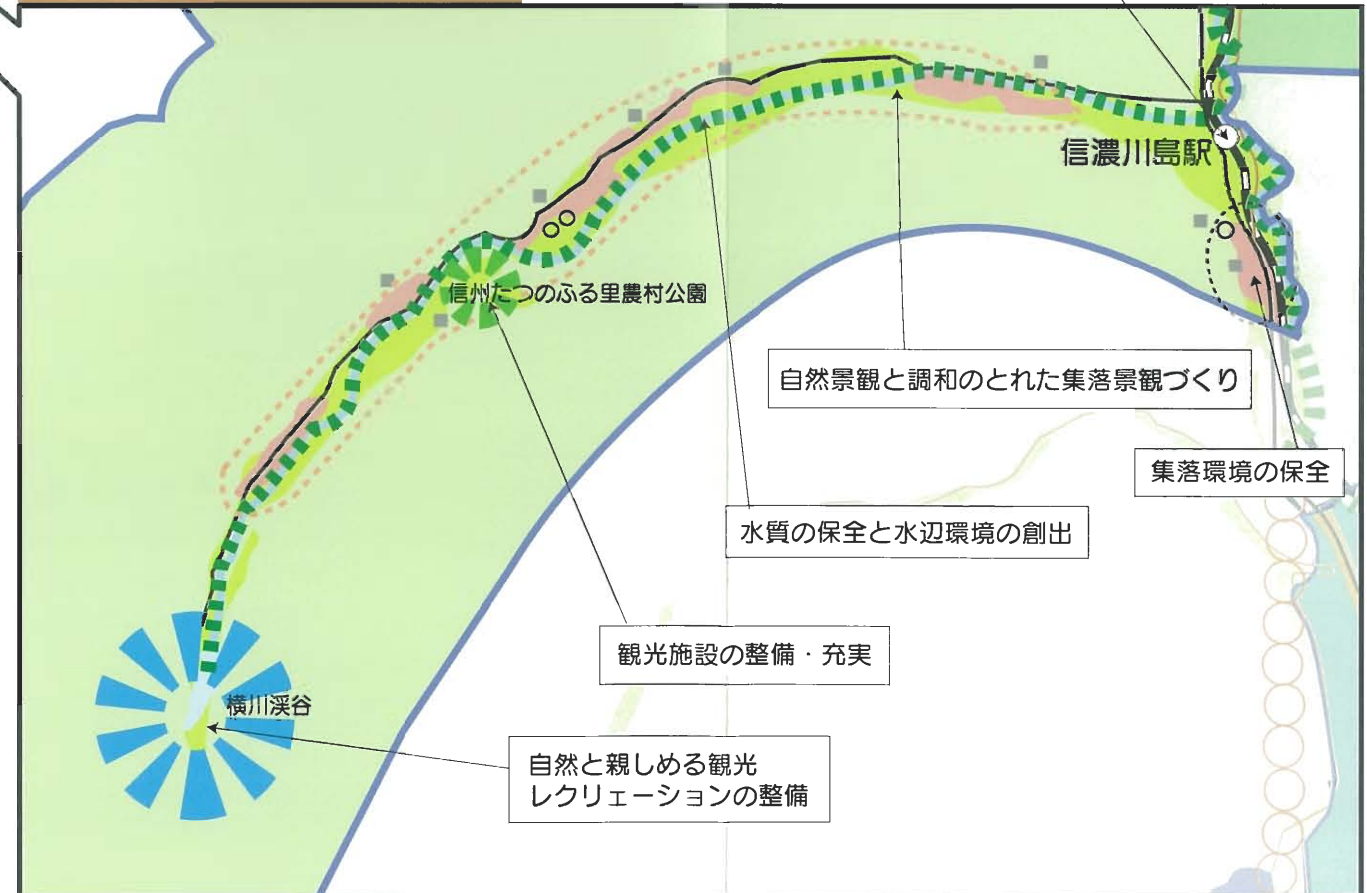
# 北部地域のまちづくりの方針図



## 小野地区



## 川島・上島地区



### 凡 例

- |  |            |  |                      |
|--|------------|--|----------------------|
|  | 農地         |  | 水と緑の骨格軸              |
|  | 緑住集落地      |  | 道路構想 (国道153号バイパス)    |
|  | 山林         |  | 主要幹線道路               |
|  | 学校、病院、保育所等 |  | 補助幹線道路               |
|  | 社寺、史跡等     |  | 主な河川、水路              |
|  | 緑の核        |  | 鉄 道                  |
|  | 水と緑の核      |  | 集落環境の保全ゾーン           |
|  | 歴史文化の核     |  | 自然景観と調和のとれた集落景観形成ゾーン |